

令和7年度 事業報告書



特別養護老人ホーム ひかり苑
短期入所生活介護（ショートステイ）
東大和市ふれあいデイセンター ひかり苑

目次

はじめに

I	特別養護老人ホーム ひかり苑	1
1	重点項目、生活相談部門	1-2
2	介護部門	7
3	医務部門	9
4	機能訓練部門	11
5	食事部門	12
6	施設整備	13
II	ショートステイ事業	14
III	東大和市ふれあいデイセンター ひかり苑	15
1	重点項目、利用状況	15-16
2	利用者状況	17
3	活動状況	18
4	年間行事	19
5	デイセンター職員会議	19
6	その他	20
IV	職員関係	21
1	特別養護老人ホーム研修関係	21
2	会議関係	22
3	委員会関係	23
4	実習生受入状況（特別養護老人ホーム）	24
5	実習生受入状況（デイサービス）	25
V	防災訓練	26
1	防災訓練実施内容	26
2	防災・BCP 委員会	27
VI	ボランティア活動状況	28
1	施設内	28
2	季節行事	28
3	その他	28
4	ボランティア交流会	28

一年を振り返って

令和7年は、2度の新型コロナウイルス感染症の発生があり、入所者及び職員の安全確保を最優先に対応を行いました。施設全体で感染防止対策の徹底に取り組み、その後も継続的な体制強化に努めてまいりました。

稼働率については概ね安定した水準を維持したものの、目標達成にはあと一步及ばず、今後の課題として認識しております。

また、ご利用者の安心・安全の確保および介護職員の負担軽減を目的として、本年度は見守りカメラを導入いたしました。業務の効率化とケアの質の向上の両立を図る取り組みとして、今後も効果検証を行いながら活用を進めてまいります。さらに、少子高齢化に伴う人材不足への対応として、DXの推進や技能実習生の受入れなど、多様な手法を取り入れながら安定したサービス提供体制の確保に努めております。

一方で、不適切事案が発生し、ご家族や行政からの信頼を失墜させる結果となったことについて、施設長として重大な責任を痛感しております。現在は行政及び法人本部の協力を得ながら、原因の検証と再発防止策の徹底に取り組んでおります。また、定期的に行政への報告を行い、透明性を確保しながら信頼回復に努めております。

再発防止にあたっては、一朝一夕に構築されるものではないとの認識のもと、組織としての体制整備を着実に進めております。あわせて、職員教育の充実を図るとともに、職員が安心して働き続けられる職場環境づくりにも取り組んでおります。

今後は、これらの取り組みを着実に定着させ、ご利用者の尊厳を最優先としたサービス提供を徹底し、地域及び関係機関から信頼される施設運営の実現に努めてまいります。

令和8年3月31日 施設長 河野 雄太

I 特別養護老人ホーム ひかり苑

重点項目

1 利用者支援サービスの充実

- ・常に法人の理念と方針、高齢者支援系グループ方針を念頭に置いて遵守し、業務を遂行しました。
- ・利用者の人権を尊重し、自己決定に基づくケアプランを立案し自立した日常生活を送ることができるよう支援をしました。
- ・「親切」「丁寧」「誠実」をモットーに、個別サービスを心がけ、安心して安全な「持ち上げない介護」を実践しましたが、言葉遣いや個別サービスの充実など課題は残っています。
- ・厨房機器の更新や補助金を活用した介護ベッド・見守りカメラとセンサーの購入等、計画的に施設整備を行いました。利用者に快適な住環境の提供とインカムとタブレットを使用したICTの活用を引き続き行っています。空調設備やエレベーターの更新は次年度以降へ向け慎重に検討します。
- ・感染症への対策を含めたBCPを見直し、新型コロナウイルス対策も継続しながら安全と安心の確保に努めました。

2 地域社会への取り組み

- ・感染症対策の影響はありましたが東村山市富士見町福祉施設連絡会と連携し、デイサービスと協力しながら地域の防犯・防災に向けた「富士見町あいさつ運動」を継続しました。
- ・東村山市福祉避難所連絡会に参加し、東村山市と連携を続け福祉避難所としての役割を果たせるよう研修や実地訓練を通して取り組みました。
- ・地域包括ケアシステムの構築へ向けて、連絡会等を通して我々の役割を果たすことにより、地域に必要とされるサービスの一員として取り組みました。
- ・地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し、緊急性の高い短期入所ややむを得ない措置入所を受け入れました。

3 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員が安心して働ける職場環境作りに取り組み、課題はあるものの職員の離職防止と定着に繋がりました。東村山市ライフ・ワーク・バランス推進優良企業に認定いただきました。
- ・職場体験の希望については感染症対策によりやむなくお断りしましたが、福祉施設実習は数名の受け入れをしました。
- ・法人内外のオンライン研修を活用しながら計画的に参加することにより、サービスの質の向上と職員のスキルアップを行い、福祉人材の育成に努めました。
- ・4S活動と災害防止については主に職員会議で周知し、取り組みを行いました。

4 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・コストの削減と新規加算の取得、入院者の減少に努め令和6年度も黒字決算を迎えることができました。職員のたゆまぬ努力が実を結んだ結果となりました。
- ・経営基盤の安定と事業継続を効果的かつ、適正に行うための施設整備等積立金を積み立てる

ことはできませんでした。

- ・健全な経営を行うための正規職員と契約職員、パート職員の適正な配置に努め、一定の効果を得ることが出来ました。
- ・稼働率向上のため、入院者の減少や新規入所者の入所までの期間の短縮、空床のショートステイ利用等取り組みましたが、数字としての結果に繋がらず年間目標稼働率(99%)を達成することが出来ませんでした。

1 生活相談部門

○生活相談援助（ソーシャルワーク）について

- ・優先入所基準に基づいた入居相談を実施し、利用契約時には同意書の締結を行いました。
- ・苦情・相談等に迅速に対応し利用者サービスの向上に役立てました。

○個別援助（ケアマネジメント）について

- ・PCDAのサイクルに則ったケアプラン作成を行い、より良いサービスを提供しました。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、個別サービスや余暇活動の充実には課題が残っています。
- ・研修を実施し虐待等の予防に努めました。

○預かり金管理について

- ・預かり金管理要綱に基づき、適切な管理を実施しました。

○情報公開、個人情報保護について

- ・ホームページや広報誌により情報発信をしましたが、ホームページの更新や構成には課題が残っています。
- ・新型コロナウイルスの影響により実習生の受け入れや積極的な地域社会への情報発信は行うことができませんでした。
- ・個人情報保護規程に基づき、個人情報の保護について厳守しました。

○ターミナルケア、退所支援について

- ・可能な範囲でターミナルケアを実施しました。
- ・円滑な退所支援を行いました。
- ・振り返りなどグリーフケアに課題が残っています。

(1) 利用者の状況

① 保険者別一覧人数（令和8年3月31日現在）

保険者	男性	女性	計
北区	0	1	1
東村山	6	31	37
小平	1	4	5
多摩	0	1	1
昭島	1	0	1
立川	1	0	1
国立	1	0	1
東久留米	0	1	1
新座	0	1	1
秩父	0	1	1
四街道	0	1	1
合計	10	41	51

② 年齢別一覧人数（令和8年3月31日現在）

年齢	男性	女性	計
60以下	0	1	1
64以下	0	0	0
65歳～69歳	2	0	2
70歳～74歳	2	0	2
75歳～79歳	0	1	1
80歳～84歳	1	7	8
85歳～89歳	2	9	11
90歳～94歳	1	15	16
95歳～99歳	2	7	9
100歳以上	0	1	1
最高年齢	98歳	100歳	
最少年齢	66歳	53歳	
平均	81.5歳	88.5歳	87.1歳

③ 入所期間別一覧人数（令和8年3月31日現在）

入所期間	1月以内	1月超～6月以内	6月超～1年以内	1年超～2年以内	2年超～3年以内	3年超～4年以内	4年超	平均期間
男性	1	1	0	2	1	1	4	28年
女性	2	5	5	9	7	4	9	25年
合計	3	6	5	11	8	5	13	26年

④ 要介護度別一覧人数（令和8年3月31日現在）

要介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計	平均要介護度
男性	0	1	2	5	2	10	38
女性	2	2	7	22	8	41	38
合計	2	3	9	27	10	51	38

⑤ 年間利用実績人数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月利用率 (%)	99.9	99.7	97.9	98.3	99.6	95.2	99.7	100.6	92.5	93.9	97.6	100.8	98.0
入院日数	28	19	69	56	7	39	16	11	53	43	25	15	31.8

⑥ 年間入所状況人数

	在宅	医療機関	社会福祉施設	老人保健施設	その他	計
4月	1	1				2
5月				1		1
6月	1					1
7月					1	1
8月						0
9月		1				1
10月		1		1		2
11月						0
12月	3					3
1月		1				1
2月					2	2
3月		1				1
計	5	5	0	2	3	15

⑦ 年間退所状況人数

	死亡(病院)	長期入院	死亡(施設)	他施設入所	その他	計
4月	1					1
5月	1		1			2
6月						0
7月	1					1
8月			1			1
9月			1			1
10月						0
11月			2	1		3
12月	1		1			2
1月	1		1			2
2月						0
3月						0
計	5	0	7	1	0	13

(2) 家族との連携（面会状況人数）

家族等の面会						外泊					
12回以上	～12回	～5回	～2回	1回	なし	12回以上	～12回	～5回	～2回	1回	なし
9	11	14	4	9	19	0	0	0	0	0	66

感染対応実施にて対面面会通年実施、コロナウイルスクラスター時に面会中止期間あり

(3) 家族との交流事業

交流事業名	有・無	年/回数	交流事業名	有・無	年/回数
家族会	有	1回	家族懇談会	中止	0回
行事招待	有	1回	広報誌配布	有	4回

(4) 行事活動と参加人数

実施日	行事名	場所	参加人数	内容
6月22日	春の家族会	多目的ホール	12家族	新型コロナウイルス感染防止対応のため、日程を変更し行いました。
5月5日	端午の節句	南東デイルーム 中庭	51名	鯉のぼり・五月飾り・菖蒲湯を楽しみました。
7月7日	七夕	各フロア	51名	短冊に願い事を記入して、飾り付けをしました。
7月17日	夕涼み会	多目的ホール	51名	猛暑のため多目的ホールで縁日の雰囲気を楽しみました。
8月6日 7日 8日	迎え火 お盆法要 送り火	1階玄関 多目的ホール 南東デイルーム	51名	ひかり苑ゆかりの物故者供養、迎え火、送り火を行いました。
10月30日	敬老会	多目的ホール	51名	第一部：長寿のお祝い第二部：有志によるアトラクションでお祝いしました。
10月6日	お月見	北食堂 東側ベランダ	51名	お団子作りをして夕食後に屋上等で月を鑑賞しました。
3月19日～ 22日	お年寄りの 手作り作品展	東村山市 中央公民館	10名	東村山市中央公民館で、実施され、利用者6名参加しました。
10月19日	さやま園祭 (三施設合同)	正面玄関前	中止	新型コロナウイルス感染防止対応のため、中止としました
12月22日 ～24日	柚湯	浴室	51名	一般浴・機械浴共に柚湯で季節感を味わいました。
12月18日	クリスマス会	北食堂	51名	ケーキバイキング、職員によるアトラクションを行いまし

				た。
12月26日	正月飾り	玄関・各フロア	51名	ご利用者と一緒にお正月の飾り付け（門松・輪飾り）を行いました。
1月1日	初詣	ひかり神社 （フロアに設置）	51名	南東デイルームにひかり神社を作成し絵馬、おみくじを行いました。
1月15日	新年会	北食堂	51名	新しい一年の始まりをお祝いし職員のアトラクションを行いました。
2月3日	節分	2階食堂	51名	職員が鬼になり、豆まきを行いました。
中止	ボランティア 懇親会	会議室	中止	コロナウイルス感染防止対応のため、中止としました。
3月3日	ひな祭り	2階食堂	51名	午後の水分補給時に、おやつを配り召し上がっていただきました。
3月27日 ～31日	お花見	2階ベランダ ひかり苑駐車場	51名	2階ベランダ。ひかり苑駐車スペースから咲き誇った桜のお花見をしました。

(5) 誕生会（毎月第3木曜日 14時～16時）

- 1 誕生日月に、その月の誕生日を迎えられるご利用者の誕生日会を歌とバースデーカードでお祝いしました。

（効果）

- ・皆でお祝いを行う事により、コミュニケーションを図ることができ、生活の中に喜びや楽しみを共有することが出来ました。

（課題）

- ・誕生日一覧表を毎月更新する。

(6) ホーム喫茶（毎月第3木曜日 14時～16時）

- 1 喫茶会場（1階会議室）を使用しました。

（効果）

- ・自分の好きな飲み物やお菓子の選択は、自己決定などの自立支援につながりました。

（課題）

- ・担当者以外の職員も、活動内容を周知し、活動の幅を広げるために、マニュアル（手順書）を作成し随時更新する。
活動の継続方法や職員の配置も考慮していく必要がある。

月別参加者数（年間延べ人数 264名）

	参加者数		参加者数		参加者数		参加者数
4月	33	7月	0	10月	0	1月	33
5月	33	8月	33	11月	0	2月	33
6月	33	9月	33	12月	0	3月	33

(7) 第三者評価（特定非営利活動法人 アクティブハンディネット）

契約日 令和7年5月1日 訪問調査実施日 令和7年11月13日

調査結果報告 令和7年12月23日

(8) 介護サービス情報の公開

調査日 令和7年8月1日 公表日 令和7年8月29日

(9) 東村山市富士見町集会所の委託業務

平成24年4月1日より富士見町集会所の受付管理業務に関して、東村山市 市民部 市民協働課から委託され、随時対応しています。

2 介護部門

令和7年度は、ご利用者へケアプランに基づいた、きめ細かなサービスを提供するため個別ケアの充実を図りましたが、外出などについては期待に添えなかった部分がありました。

○食事、排泄、入浴、移乗などについて

- ・自立支援の考え方を基本に、ご自身で出来ない部分を支援させていただきました。
- ・概ね計画とおり対応することができました。

○フロア活動について

- ・ニーズの把握に努めましたが、行事や面会など難しいこともありました。
- ・クリスマス会や夏祭りなど出来ることについては最大限行いました。
- ・ご利用者リクエスト行事「ひかり居酒屋」を開催できました。

○看護、介護のケア連携について

- ・意見をすり合わせながら連携することができました。
- ・外部研修についてはあまり参加することができませんでした。

(1) 食事摂取状況人数（令和8年3月31日 現在）

	自立	介護状況					合計
		一部介護		全面介護		経管栄養	
		食堂	居室	食堂	居室		
男性	7	1	0	2	0	0	10
女性	30	8	0	2	0	1	41
合計	37	9	0	4	0	1	51

(2) 排泄介護状況人数（令和8年3月31日 現在）

	自立	介護状況							合計	夜間のみオムツ使用
		トイレ		ポータブルトイレ			オムツ	小計		
		一部介護	全面介護		トイレ・オムツ併用(パット含)	ポータブルトイレ・オムツ併用(パット含)				
男性	1	4	0	0	0	0	5	9	10	3
女性	3	24	0	0	0	0	14	38	41	16
合計	4	28	0	0	0	0	19	47	51	19

(3) 洗面・更衣状況人数（令和8年3月31日 現在）

	洗面				更衣			
	自立	介護状況		合計	自立	介護状況		合計
		一部介護	全面介護			一部介護	全面介護	
男性	3	3	4	10	1	0	9	10
女性	3	22	16	41	3	10	28	41
合計	6	25	20	51	4	10	37	51

(4) 入浴状況人数（令和8年3月31日 現在）

	自立	介護状況				合計
		一般浴		機械浴	中間浴	
		一部介護	全面介護			
男性	1	0	0	5	4	10
女性	0	2	0	14	25	41
合計	1	2	0	19	29	51

(5) 移動状況人数（令和8年3月31日 現在）

	自立歩行	杖歩行 手引き	車イス 自立	車イス 一部介護	車イス 全介助	合計
男性	1	0	3	0	6	10
女性	0	5	0	3	33	41
合計	1	5	3	3	39	51

3 医務部門

ご利用者やご家族に「大切にされている」と安心して任せいただけるような看護を目指し、衛生面での環境整備・健康管理・ADLの自立援助などをおこなってきました。

(1) 健康管理

様々な疾病や障害を持ちながら施設で生活されているご利用者様に、個別の健康状態を把握して、障害・疾病の悪化を未然に防げるよう早期発見・早期治療に努めるとともに、他職種との連携を密にしながらご利用者の状態把握に努めました。

(2) 施設内診療

- ① 内科医は定期往診や年2回の定期採血を行いました。また、医師と情報共有を行いながら、必要な場合は内服薬、療養食、経口栄養剤(ドリンク)等による健康管理を行いました。体調に変化があった場合は、臨時往診での対応や、状況によってはご家族のご意向を伺いながら、検査や入院が必要な方には紹介状作成を嘱託医へ依頼。協力病院の地域連携室を通して対応しました。
- ② 精神疾患のある方や状況に応じて必要と判断された方は、月2回の精神科医の診察と、対応方法などのアドバイスを受けました。病院での服薬調整が必要な方には入院調整を行いました。
- ③ 訪問歯科診療においては、日頃のケアを重視し、介護職と看護職との連携のもとご利用者の状態把握に努めました。

(3) 協力医療機関との連携

- ① 医療機関での治療が必要と認められた場合は、医師の指示のもと、通院治療及び入院加療の為の受診先・入院先をご本人、ご家族の希望を考慮して医療機関を決定してきました。
- ② 受診は年間91件。月平均は約7.6件。
入院件数は22件でした。
- ③ 夜間や時間外の対応については、看護職員が連絡を受け、受診の必要性を判断しています。今年度のオンコール件数は19件でした。
日中・夜間全体の年間救急車要請は16件、そのうちの夜間の搬送は3件でした。

(4) 健康保持および増進

他職種との連携により、個々の健康状態に適した運動・食事・休養などの周知を図り、医師・管理栄養士も含めた健康管理体制、口腔ケアの充実を図りました。

(5) 保健衛生・施設内感染予防

- ① 高齢者は複数の慢性疾患を有しており、予備力の減退・抵抗力の低下・適応性の低下などの特性を考慮して、ご利用者を取り巻く生活環境の衛生管理・身体の清潔、職員の個人衛生、介護者の清潔・動作などを配慮した適切な援助をしました。
- ② 感染症については今年度も毎日、「5分間の換気」のアナウンスを行いました。
- ③ インフルエンザ罹患は、職員、ご利用者ともにいませんでした。
新型コロナウイルス罹患は、R7年4月に特養職員1名、ご利用者0名。R7年6月に特養職員1名、ご利用者0名。R7年8月に職員10名、利用者28名(うちSS4名含

む)でした。感染防止の対応として、面会人数や場所、時間の制限を設ける等ご家族にもご協力いただきました。

- ④ ご利用者の健康診断については検診車をお願いし、胸部レントゲン、血液検査、心電図の検査を行いました。

(6) 通院状況（月間通院件数）

	合計		合計
4月	12	10月	10
5月	6	11月	6
6月	6	12月	8
7月	7	1月	7
8月	4	2月	11
9月	9	3月	5
		件数合計	91件
		実人数	27名

(7) 入退院状況

月間入院者数

	合計		合計
4月	1	10月	0
5月	3	11月	1
6月	5	12月	4
7月	2	1月	1
8月	1	2月	2
9月	1	3月	1
		件数合計	22件
		実人数	19名

(8) 入院期間

入院期間	1～30日	31～60日	61～90日	91日以上
合計22件	18	4	0	0

(9) 年間の救急搬送、オンコール対応件数

救急搬送件数	16
オンコール件数	19
オンコールの中での救急搬送数	3

4 機能訓練部門

令和6年度より機能訓練指導員が理学療法士となり、動作分析や解剖学的視点を重視したアプローチへと移行しました。日常生活に即した訓練の充実を図っています。

また令和7年3月14～25日のクラスターの関係で、その時期の個別機能訓練が実施できずにおりましたことを報告させていただきます。

今後とも安全第一でリハビリを実施させていただきます。

○ご利用者への支援

- ・安全で生き生きと豊かに暮らしていただくために、個々の生活動作能力に応じた機能訓練や日常生活動作訓練などを行います。

○個別機能訓練計画書

- ・生活機能チェックシートや科学的データを用いてケア計画を立て、ご利用者の生活機能向上を目指します。

○職員への支援

- ・職員への腰痛防止を目的にした腰痛予防体操の指導。
- ・新人職員へのトランスファ及びポジショニング等の介護技術面の指導

1) 個別機能訓練週間予定表

	月	火	水	木	金	
午前	個別機能訓練	個別機能訓練	個別機能訓練	個別機能訓練	個別機能訓練	
午後	個別機能訓練 集団・生活リハ リハ記録	集団療法 (生活リハ) リハ記録	個別機能訓練 福祉用具整備 リハ記録	個別機能訓練 WC点検整備 リハ記録	個別機能訓練 リハ記録	

2) 個別機能訓練 のべ人数 (2025.4.1～2026.3.31)

	基本動作	歩行訓練	関節可動域	マッサージ	シーティング	生活リハ	口腔リハ	合計
4月	64	69	67	49	41	348	27	665
5月	120	100	109	79	61	357	50	876
6月	116	119	110	86	69	358	52	910
7月	123	105	113	91	64	354	56	906
8月	124	106	116	89	73	184	34	726
9月	128	102	118	96	65	179	37	725
10月	122	110	116	100	77	359	57	941
11月	114	120	115	108	73	380	55	965
12月	59	53	57	34	39	265	44	551

1月	74	76	97	68	43	187	20	565
2月	0	0	0	0	0	0	0	
3月	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1044	960	1018	800	605	2971	432	7830

5 食事部門

(1) 栄養管理

全体的に肉や魚を昼食と夕食の主菜として組み入れ、良質なたんぱく質を摂取できるようにしました。ミキサー食（ソフト食を含む）は、食事摂取負担を考慮し、ご利用者が30分以内で召し上がっていただけるよう質と量の均一化を行いました。

また、水分補給のため夏はちみつレモン、冬は生姜湯を提供しました。更に嗜好調査を実施して、ご利用者のニーズ把握に努めました。

個別ケアを充実するため、ひとり一人とコミュニケーションを図り、嗜好・身体状況・食事摂取状況を踏まえた上、他のセクションと協力してケアプランを作成しました。

栄養基準量

	常食	摂食嚥下 困難食		常食	摂食嚥下 困難食
エネルギー	1,450Kcal	1,290Kcal	レチノール当量	700 μ g	620 μ g
たんぱく質	54.0g	48.0g	ビタミンB1	1.00mg	0.90mg
脂質	40.0g	36.0g	ビタミンB2	1.20mg	1.00mg
カルシウム	660mg	580mg	ビタミンC	100mg	90mg
鉄	7mg	6mg	塩分	7.3g	6.4g

（注） 令和7年4月1日在籍者より算出しました。

栄養給与量

	常食	摂食嚥下 困難食		常食	摂食嚥下 困難食
エネルギー	1,473Kcal	1,295Kcal	レチノール当量	787 μ g	540 μ g
たんぱく質	59.3g	53.0g	ビタミンB1	1.01mg	0.74mg
脂質	40.6g	37.5g	ビタミンB2	1.05mg	0.86mg
カルシウム	510mg	480mg	ビタミンC	88mg	69mg
鉄	9.3mg	7.2mg	塩分	8.2g	7.1g

(2) 調理

- ① レシピを再検討し、調理員間で手順の確認を行い、おいしい食事提供を心掛けました。
- ② 月に1回の選択食・松花堂弁当など旬のお食事を提供しました。また郷土料理は、調理職員がメニューを考え、栄養士と連携し、提供しました。
- ③ 年数回でバイキング食を提供しました。
- ④ 郷土料理に加えこだわりの逸品を加え調理職員の得意な料理を企画しご利用者に喜ばれる食事作りに努めた。

(3) 衛生管理

- ① 検食は食事開始 30 分前に行いました。
- ② 衛生知識向上のため、積極的に研修参加、自己研修や情報共有したい研修に関しては調理員会議での報告を行った。
- ③ 東京都食品衛生マイスター認証施設の自覚をもち、積極的に衛生管理の徹底を行いました。

(4) 作業管理

- ① 調理会議を活用して、作業の効率化をはかりました。
- ② 機器関係の研修に参加しました。
- ③ 新型スチームコンベクションを導入し業務の効率化と業務軽減負担に努めました。

(5) その他

- ① 非常食は、全ての食形態を対応可能として、ご利用者・職員用 5 日分を準備しました。
- ② 非常災害時に備えて、介護職員が主となり実践的な炊き出し訓練を行いました。
- ③ 新型コロナウイルス感染のため管理栄養士臨地実習を以前とほぼ同じように施設実習を行いました。

6 施設整備

(1) 改修・購入状況

	内容	予定月	実施月	経費
1	ガス式立体炊飯器 入替		2月	885,500 円
2	ステンレス回転釜 入替		2月	644,600 円
3	デスクトップパソコン3台		2月	495,000 円
4	介護ソフト「ほのぼの」 入替		7月	4,263,376 円

Ⅱ ショートステイ事業

ショートステイとは、おもに在宅にて介護が必要な高齢者と生活されているご家族を、病気や冠婚葬祭、心身の負担軽減などを理由として一時的な利用によりお手伝いするものであり、サービス提供は特別養護老人ホームに準じています。令和 7 年度も概ね順調に事業を行いました。

(1) 過去 3 年間の利用実績

令和 7 年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用率	1067	1016	850	1097	1161	1042	1016	917	839	653	946	1097	975
平均 要介護度	31	29	29	30	30	36	31	30	32	30	30	28	31

令和 6 年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用率	1208	1065	1300	1218	1048	1208	1298	1225	871	895	1134	1121	1132
平均 要介護度	22	25	24	25	25	25	25	30	29	29	29	30	27

令和 5 年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用率	783	1105	1058	1734	1427	1575	1621	1233	1210	1040	1293	1145	1270
平均 要介護度	35	27	24	21	25	27	28	26	27	25	27	26	265

Ⅲ 東大和市ふれあいデイセンター ひかり苑

令和 7 年度は安定した事業所運営を目標に、東村山市を中心として、販促物の刷新や新規事業所の開拓等、より積極的な営業活動に努めましたが、諸々の事情等によりご利用者の出入りが大変多い状況が続いてしまい、目標に掲げた年間目標稼働率 55%の達成には及びませんでした。そのような中でも合築の特別養護老人ホームひかり苑や、軽費老人ホームサンホームとの交流に加えて、他法人の南台幼稚園との 4 回の地域交流事業、多数のボランティア活動の受け入れのほか、教職員を目指す大学生の実習受け入れ先として、半年間で 50 名近くの学生を受け入れることが出来たことなど、地域とのつながりを重要視する地域密着型の事業所としての役目を果たすことが出来ました。この流れは令和 8 年度も事業所のミッションとして取り組みながら、令和 6 年に国から示された「新しい認知症観」に立ったご利用者の支援を実践して参ります。

重点項目

1 利用者支援サービスの充実

法人理念とする、地域の皆様と一緒に福祉の街づくりに努めることを目標に、各協力機関との連携を図りながら、ご利用者様の心身の健全と、一人ひとりに応じた個別支援の提供に努めました。

2 地域社会への取り組み

法人グループの方針でもある地域包括ケアシステムの構築のため、自治体や地域と協力しながら介護が必要になっても住み慣れた地域で生活が続けられるよう、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターとの連携に努めました。富士見町内にある南台幼稚園の園児の皆様との交流会の開催や、東村山市内で 3 月に開催された、高齢者の手作り作品展への作品の出展などがあります。

3 福祉人材の育成と職場環境の整備

研修や会議などを通してサービスの向上やスキルアップに努めました。デイ会議など職員同士でコミュニケーションを積極的に図れる場を設け、職員が心身ともに健康で安心して働ける職場環境の構築に努めました。将来の福祉人材の育成を目的として、教職を目指す大学生の介護等体験実習の受入れ先となり、学生の認知症高齢者に対する学びの機会を提供しました。

4 財政基盤の強化へ向けた取り組み

新規利用者の獲得のために営業活動を行いました。目標に掲げた稼働率 55%を達成することが出来ませんでした（令和 7 年度年間稼働率 46.1%）。販促物の見直しや、訪問、FAX での空き状況の定期的な発信等の結果、一定の成果が見られましたが、それらを更に強化する必要性を強く感じています。令和 8 年度は東村山市内の居宅介護支援事業所の新規開拓や、事業所回りに注力して営業活動に努めて参ります。

1 利用状況

(1) 延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6年度	139	152	156	167	162	149	161	144	141	135	118	138	1762
7年度	160	153	169	169	145	146	136	136	126	115	129	125	1697

(2) 登録人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6年度	18	17	18	19	20	19	19	18	21	19	18	17
7年度	19	18	20	19	18	17	17	17	15	15	15	15

(3) 1日の平均利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
6年度	53	56	62	61	6	59	59	58	58	56	49	53	56
7年度	61	56	62	62	55	56	50	54	52	47	53	48	54

(4) 稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
6年度	446	469	520	515	500	497	497	462	490	469	410	442	477
7年度	513	472	523	522	465	468	420	453	438	399	448	401	461

(5) 入浴状況延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6年度	74	77	84	91	87	81	94	79	76	77	73	74	967
7年度	95	95	95	108	99	101	87	86	79	70	72	72	1059

2 利用者状況（令和8年3月31日現在）

(1) 年齢構成

	69歳以下	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合計
男性	0	0	1	0	2	1	4
女性	0	0	2	2	1	6	11
計	0	0	3	2	3	7	15

	平均年齢		最低年齢	最高年齢
男性	85.5歳	87.1歳	76歳	94歳
女性	87.7歳		76歳	98歳

(2) 要介護度状況

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均
男性	0	0	1	2	0	0	3	26
女性	1	1	3	3	1	2	10	29
計	1	1	4	5	1	2	13	29

(3) 居住地

	東村山市	小平市	東大和市
男性	4	0	0
女性	10	1	0
計	14	1	0

(4) 世帯状況

	一人暮らし	老夫婦世帯	その他	合計
男性	0	2	0	2
女性	3	2	8	13
計	3	4	8	15

3 活動状況

(1) 各活動の状況一覧表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
創作活動	回数	6	7	4	1	8	5	3	3	7	9	11	6	70
	延人数	32	37	21	6	43	22	20	18	37	42	65	27	370
外出活動	回数	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	7
	延人数	11	0	13	0	0	0	0	10	0	0	0	5	39
ボランティア活動	回数	2	3	2	2	2	1	2	3	2	2	2	2	25
	延人数	15	21	13	12	9	7	10	13	13	10	12	7	142

(2) 創作活動

(効果)

- ・生活リハビリの観点で実施することで、意欲の向上、残存機能維持につながる。

(課題)

- ・作品展などに出展する際の作品や展示物などを作成することも念頭に置いて取り組む。
- ・計画的に取り組むことで季節感のある作品を年間を通して制作できる。

(3) 外出活動（園外行事への参加）

(効果)

- ・参加することで地域社会との繋がりを実感できる。

(課題)

- ・事業所の行事への参加が利用者ごとのケアプランに記載されていること。

(4) お菓子作り

(効果)

- ・自分で作る事で満足感が得られる。

(課題)

- ・食品の取り扱い等、衛生面への配慮が必要。

(5) サンホーム交流会

(効果)

- ・利用者同士の地域交流の機会が得られる。

(課題)

- ・ADLの違い等により企画が限定される。

サンホーム交流会 活動内容

4月		10月	
5月	南台幼稚園交流会	11月	焼芋交流会（サン主催）
6月		12月	南台幼稚園交流会(不参加)
7月	南台幼稚園交流会	1月	
8月	和太鼓演奏（デイ主催）	2月	南台幼稚園交流会（不参加）
9月		3月	

4 年間行事

実施月	実施日	内容	延参加人数
4月	4日・5日	デイ桜を観る会	11名
5月	14日	第1回南台幼稚園交流会	6名
6月	16日・20日	菖蒲を観る会（湖南衛生組合菖蒲園）	13名
7月	8日	第2回南台幼稚園交流会	6名
8月	15日	和太鼓演奏会	7名
9月	19日	敬老会	7名
10月	6日	お菓子作り	5名
11月	7日	焼芋交流会（サンホーム主催）	6名
11月	25日・26日	紅葉を観る会	10名
12月	11日	第3回南台幼稚園交流会	4名
12月	24日	クリスマス会	7名
1月	13日	新年会	6名
2月	3日	節分	3名
2月	18日	第4回南台幼稚園交流会	6名
3月	14日	おやつ作り	5名
3月	19日	東村山市お年寄りの手づくり作品展見物	5名

5 デイセンター職員会議

実施日	会議録	参加職員	検討内容
4月30日	有	所長・生活相談員・介護職員	実績について 今後の予定他
5月19日	有	所長・生活相談員・介護職員	実績について 今後の予定他
6月18日	有	所長・生活相談員・介護職員	実績について 今後の予定他
7月14日	有	所長・生活相談員・介護職員	実績について 今後の予定他
8月28日	有	所長・生活相談員・介護職員	実績について 今後の予定他
9月26日	有	所長・生活相談員・介護職員	実績について 今後の予定他
10月11日	有	所長・生活相談員他・関係者	第一回運営推進会議

10月28日	有	所長・生活相談員・関係者	実績について 今後の予定他
11月21日	有	所長・生活相談員・介護職員	実績について 今後の予定他
12月11日	有	所長・生活相談員・介護職員	実績について 今後の予定他
1月27日	有	所長・生活相談員・介護職員	実績について 今後の予定他
2月20日	有	所長・生活相談員・介護職員	実績について 今後の予定他
3月19日	有	所長・生活相談員・介護職員	実績について 今後の予定他
3月28日	有	所長・生活相談員他・関係者	第二回運営推進会議

6 その他

・教職課程介護等体験

教員免許を取得するために大学の教職課程を履修している学生が、特別支援学校や特養、デイサービスで主にコミュニケーション中心の介護等体験を行う（令和7年度はデイサービスセンターにて46名弱の学生が実習を行った）。

Ⅳ 職員関係

1 特別養護老人ホーム研修関係

(1) 施設内研修（デイセンター含）

月日	研修内容	参加人数
4月1日	雇入れ時研修	1名
4月3日	コンプライアンス（法令遵守）+虐待対策	6名
5月1日	現職員を対象とする接遇に関する研修 接遇・サービスマナーに関する研修	5名
6月5日	事故の発生等緊急時の対応に関する研修	3名
7月3日	事故の発生予防又は再発の防止に関する研修	6名
8月7日	ターミナルケアに関する研修 褥瘡予防に関する研修	4名
9月4日	感染症及び食中毒の発生の予防・まん延の防止に関する研修 嘔吐物処理の手順	5名
10月2日	認知症及び認知症ケア・身体拘束に関する研修 虐待に関する研修（入居者の人権擁護・虐待防止等の研修）	5名
11月6日	精神的ケアに関する研修 利用者のプライバシー保護の取り組みについての研修	9名
12月4日	高齢者施設における基本的な感染症対策	12名
12月16日	感染症及び食中毒の発生の予防・まん延の防止に関する研修 インフルエンザについて（湯川医師）	10名
1月8日	身体拘束・虐待に関する研修（人権擁護を含む）	5名
2月5日	ターミナルケアについて【グリーフケア研修】 ひかり苑緊急時対応	4名
3月5日	アンガーマネジメント研修	5名

(2) 施設外研修

今年度も施設外研修における効果を重視し、東京都・東京都社会福祉協議会・東村山市社会福祉協議会・老人福祉施設協議会・法人等主催の職員意識改革を中心とした研修に参加しました。対人援助サービスに関わる仕事は、人間性と社会性が重要です。職員各自の自己研鑽も含め、研修の目的・意義を自覚して、研修成果を施設全体で共有化あるいはフィードバックしていき、人間性と社会性の育成につなげてきました。

① 法人・東京都等主催主催（デイセンター含）

月日	研修内容	会場	参加者
6月25日	多摩小平保健所 栄養管理講習会	オンライン	山川 聡
5月30日	基礎研修	さくらホール	池田 俊介
6月23日	グローバル研修	ひかり苑	チーチャー・ニャ イン
1月19日	メンタルトレーニングフォローアッ プ研修	オンライン	跡部 典嗣
12月	多摩小平保健所 食品講習会A	オンライン	劉 晨晨 五十嵐 秀二郎
1月13日	中堅研修	原町複合施設	岩崎 海
11月18日	人事考課者研修会	原町ホーム	河野 雄太
通年 (年6回)	1ON1 研修	さくらホール	河野 雄太
2月16日	グローバルフォローアップ研修	フジホーム	チーチャー ニャイン

② 交換研修（デイセンター含）

月日	研修内容	会場	参加者
なし	介護職員交換研修		

2 会議関係（デイセンター含）

会議名	実施日	参加職員	内容
職員会議 虐待防止・身体拘束 廃止委員会	第3 (水)	全職員	施設長会の報告事項、施設運営 全般に関わる課題などの検討・ 協議及び、意思決定の場としま した。
運営会議 感染症対策委員会 褥瘡対策委員会	第2 (水)	施設長 介護職員 看護職員 生活相談員（特養・デイ） 管理栄養士 機能訓練指導員（特養） 介護支援専門員（特養）	施設経営を円滑に実施するた め、委員会・会議・行事日程の 調整、問題点などを検討しまし た。褥瘡対策委員会は特養職員 のみで行いました。

介護職員会議	第2 (月)	介護職員（特養）	介護業務全般の課題検討・解決を図り、利用者サービスの質の向上を構築しました。
医務会議	適宜	施設長 看護職員（特養） 生活相談員（特養） 介護職員（特養） 機能訓練指導員	利用者の健康管理全般について、看護職員・生活相談員・機能訓練指導員等と連携を図り、安心・快適な生活を検討しました。
調理員会議	第4 (火)	施設長 管理栄養士 調理員	合築 2 施設共同で調理しており、相互理解・協力体制・連携を図り、安全で低コストの食の改善を構築しました。
栄養ケアプラン会議	第2 (水)	管理栄養士 看護職員（特養） 介護職員（特養） 生活相談員（特養）	個別栄養ケア計画書の作成及び、PDCAサイクルによる実行を図りました。
ケアプラン会議	第3,4 (金)	介護支援専門員（特養） 生活相談員（特養） 介護職員（特養） 看護職員（特養） 管理栄養士 機能訓練指導員（特養）	アセスメント・モニタリング等に基づいた、サービス計画作成及びPDCAサイクルの実行を図りました。

3 委員会関係（ディセクター含）

委員会名	実施日	参加職員	内容
入所検討委員会	適宜	生活相談員・看護職員 介護職員・管理栄養士 機能訓練指導員・他	優先入居基準に基づく速やかな入所検討を行い、利用率向上に努めました。
苦情・ハラスメント解決委員会	適宜	施設長 生活相談員（特養・デイ） 介護主任	今年度においては、検討すべき事項はありませんでした。
リスクマネジメント委員会	第4 (水)	施設長 生活相談員（特養） 看護職員（特養） 介護職員（特養）	アクシデント・インシデントに基づき、その原因分析と対策を検討して、危険回避の周知徹底を図りました。
衛生委員会	第3 (火)	産業医・施設長 看護職員（特養・デイ） 生活相談員（特養・デイ） 介護職員（特養） 職員代表・管理栄養士	利用者及び職員の健康維持促進を図り、安全・快適な生活の場・職場環境作りに努めました。

情報システム 委員会（ワイズ マン含）	適宜	介護支援専門員（特養） 生活相談員（特養・デイ） 介護職員（特養）	施設内の情報ネットワークシステムの セキュリティ対策及び、ハード面・ ソフト面の管理を行いました。また、 介護ソフト「ワイズマン」の適切・効 果的な運用に努めました。 見守りカメラ・センサーを導入、適切 に運用しました。
研修委員会	随時	介護職員（特養） 生活相談員（特養） 看護職員（特養）	個別研修計画に基づき、適切な人材育 成のための年間研修計画を作成し、実 施しました。
生産性向上委員 会	奇数月 及び随時	施設長 生活相談員（特養） 介護主任・介護副主任・ フロア長	人材育成状況の報告、施設のサービス マナーの向上を図りました。 職場環境の改善を目指して、働きやす い環境・雰囲気作りに努めました。
防災委員会 BCP（事業継 続）委員会	第4 （木）	施設長・管理栄養士 介護職員（特養・デイ）	職員・利用者の防災意識向上のため に、防災訓練の企画立案・実施を行い ました。
広報委員会	奇数月 第2 （火）	施設長・事務職員 介護職員（特養・デイ）	ホームページの更新と、広報誌「もみの 木」を季刊発行しました。
口腔ケア委員会	偶数月 第2 （火）	介護職員（特養） 管理栄養士 看護職員（特養） 機能訓練指導員（特養）	誤嚥性肺炎の予防・口腔疾患の予防・ QOLの向上を図りました。
ショートステイ 委員会	偶数月 第2 （金）	ショートステイ相談員 介護職員（特養） 看護職員（特養）	アセスメント・記録などの手順書を整 備しました。
ボランティア・ レクリエーショ ン委員会	奇数月 第2 （金）	介護職員（特養） 事務職員	利用者の生活の活性化を図るため、計 画的なボランティア導入を行いました。 た。

4 実習生受入状況（特別養護老人ホーム）

所属	実習期間	人数	備考
東京都社会福祉協議会		中止	教員免許取得介護等体験
（株）AS教育センター		中止	介護職員初任者研修
東北福祉大学		中止	社会福祉士実習
十文字学園女子大学	8月18日～22日	4名	管理栄養士 臨地実習
大正大学		中止	職場体験
	合計	4名	

5 実習生受入状況（ディセンター）

所属	実習受け入れ期間	人数	備考
早稲田大学	8月～8年1月（内5日間）	3名	教員免許取得介護等体験
国立音楽大学	8月～8年1月（内5日間）	5名	教員免許取得介護等体験
日本体育大学	8月～8年1月（内5日間）	4名	教員免許取得介護等体験
武蔵野大学	8月～8年1月（内5日間）	3名	教員免許取得介護等体験
明星大学	8月～8年1月（内5日間）	1名	教員免許取得介護等体験
中央大学	8月～8年1月（内5日間）	5名	教員免許取得介護等体験
明治学院大学	8月～8年1月（内5日間）	1名	教員免許取得介護等体験
大東文化大学	8月～8年1月（内5日間）	2名	教員免許取得介護等体験
立教大学	8月～8年1月（内5日間）	4名	教員免許取得介護等体験
青山学院大学	8月～8年1月（内5日間）	4名	教員免許取得介護等体験
明治大学	8月～8年1月（内5日間）	2名	教員免許取得介護等体験
日本大学	8月～8年1月（内5日間）	3名	教員免許取得介護等体験
法政大学	8月～8年1月（内5日間）	5名	教員免許取得介護等体験
尚美学園大学	8月～8年1月（内5日間）	1名	教員免許取得介護等体験
国際基督教大学	8月～8年1月（内5日間）	1名	教員免許取得介護等体験
帝京平成大学	8月～8年1月（内5日間）	2名	教員免許取得介護等体験
	合計	46名	

V 防災訓練

1 防災訓練実施内容（デイセンター含）

月日	訓練種別	職員 参加数	利用者 参加数	出火場所等
4月24日	安否確認訓練	48名	0	wowtalkにて緊急連絡を行う。
5月22日	日中想定	4名		日中に居室で火災が発生したことを想定した訓練
6月19日	AED訓練	3名		研修ビデオを用いての心肺蘇生法や AED 使用方法に関する研修
7月24日	日中地震想定訓練 非常用発電機稼働訓練	2名		災害による停電を想定し、非常用発電機の使用方法や注意点を学ぶ
8月28日	日中地震想定訓練	4名		日中に地震が発生したことを想定した防災訓練
9月25日	炊き出し訓練	10名		災害や感染症拡大防止等の理由により、調理職員が調理業務に携われなくなることを想定した訓練
10月23日	夜間地震想定訓練	4名		夜間に地震が発生したことを想定した防災訓練
11月27日	BCP訓練	2名		研修ビデオを用いて災害時の対応について知る訓練
12月25日	防犯訓練	7名		不審者が侵入したことを想定した防犯訓練
1月29日	調理場火災想定訓練	7名		日中に調理場からの出火を想定した訓練
2月19日	避難所設営訓練	3名		避難所の設営を目的とした訓練
3月26日	夜間消火訓練	3名		夜間に火災が発生したことを想定した訓練

2 防災・BCP 委員会

月日	内容	月日	内容
4月24日	訓練後に次月訓練打合せ 消防計画の修正・更新作業	10月23日	訓練後に次月訓練打合せ
5月22日	訓練後に次月訓練打合せ 消防計画の修正・更新作業	11月27日	訓練後に次月訓練打合せ
6月26日	訓練後に次月訓練打合せ 消防計画の修正・更新作業	12月25日	訓練後に次月訓練打合せ
7月24日	訓練後に次月訓練打合せ	1月29日	訓練後に次月訓練打合せ
8月28日	訓練後に次月訓練打合せ	2月19日	訓練後に次月訓練打合せ
9月25日	訓練後に次月訓練打合せ 8月のコロナクラスターが発生した際の反省	3月26日	訓練後に次月訓練打合せ

Ⅵ ボランティア活動状況

1 施設内

活動内容	活動日	活動施設	延べ人数
折り紙	第4月曜日	デイ	12名
腹話術	不定期	デイ	1名
二胡演奏会	不定期	デイ	4名
ギター演奏会	不定期	デイ	10名
和太鼓演奏会	不定期	デイ・特養・サン	3名
フルート演奏	第3水曜日	デイ	21名
リネン交換	毎週水曜日	特養	112名
ホーム喫茶	第3木曜日	特養	8名
縫い物	毎週水曜日	特養	49名

2 季節行事

活動内容	活動場所	活動施設	人数
合同秋祭り（さやま園祭）	ひかり苑	特養	中止

3 その他

団体活動内容	活動施設	回数
つぼみ保育園	特養	1回

4 ボランティア交流会

実施日	活動名	活動施設	人数
中止	ボランティア懇親会	特養	中止

